

消費者モニター 活動報告

第46回 消費者モニター会議

2010年10月29日、「食のサポーター」による消費者モニター会議を開催しました。

今回は、初めに「トランス脂肪酸ってどんなもの？」という質問に対して解説を行いました。若干化学の授業のようになり思わず苦笑されていました。

続いて「高齢化社会の食事について」をテーマに、介護食の現状を紹介し、「きざみ食」と「ソフト食」を実際に試食していただき意見交換を行いました。皆さん年齢的にご利用はまだまだ先の話とあって実感がわかないようでしたが、「ソフト食」には感心されていました。

《会議風景》



「トランス脂肪酸は、
炭素の・・・??？」

「・・・」
皆さん真剣に



「これが「ソフミート」？
これからいろいろできるの」

「"きざみ食" って意外と食べ辛い」
「"ソフト食" は本当に軟らかい」



《サポーターの方々のコメント》

◆ **介護食の現状についてどのように思うか？**

- ・ 高齢化社会の食事についての現状はかなり厳しいものだと知った。
- ・ 知らず知らずのうちに、満足に食べているが、からだが不自由になる人のことを、思いやるというのは、高齢化社会と言わず、大切なことだと思った。市場を開拓するにも調査や研究は必要だが、人に役立つ思いやりのあるものが重要だと思った。
- ・ きざみ食は、見た目はあまり食べたという気持ちがわからない。試食して実際に食べにくかった。
- ・ きざみ食やミキサー食は、はっきり言って見た目は悪いし、食べている方を気の毒に思うくらいだ。外にあまり出る機会が少なく、食事が楽しみといっても良いくらい食事はとても重要な部分だから、元気の湧く食事を提供してあげたいものだ。

◆ **ソフト食についてどのように思うか？またソフミートの調理品を試食してどうだったか？**

- ・ ソフト食と聞いてお肉とは程遠いもののように思ったが、試食で食べたソフミートは味もよく軟らかく調理されていて高齢者の食事には理想的だと思った。形や味付けを工夫することで食事の楽しさも味わえると思う。
- ・ よくできているので感心した。食べる、飲み込むだけでなく、調理のバリエーションも広がり、なにしろ楽しい気持ちで食事ができる。気持ちと健康は繋がっているし、とても大切なことだ。
- ・ ソフト食という言葉自体初めて聞いた。見た目がきれいでかつ軟らかく食べやすいというのはとても良い事だと思った。また、調理後の加工がないので衛生管理が行き届くところが魅力的だ。試食の感想は、歯を使わずに食べられたのですごく軟らかいことが分かった。
- ・ いつも食べているものとの比較だと美味しさは落ちるが、料理のメニューによって形を自由に変えて使えるソフミートは介護食の世界ではとても画期的なものだ。

◆ 今後の高齢化社会の食事はどうあるべきと思うか？

- 正直に言って高齢化社会にこれほど食事に対する課題があると思っていなかった。
- 高齢化社会の食事は、年齢を重ねて人生の先輩にふさわしい、高貴で厳かな雰囲気のある食事であるべきだと思う。また、栄養や盛り付けも、知恵が詰まった素晴らしいものが高齢化社会の食事にふさわしいと思う。
- 食は健やかに生きるための原動力となる大切な条件の一つだ。年をとると「食べる事しか楽しみがない」という言葉をよく聞く。が、その方々は楽しんで食事をする事ができる、ある意味幸福な高齢者だと思う。不幸にも病と向き合い毎を送られている方々の方が多いと思う。そうしたハンディを抱えた方々のためにこそ食事の楽しみを感じてもらえる事のできる食事の開発が急務ではないか。
- 今からどんどん高齢化社会が進み、施設に入所できるお年寄りやソフトフードなどの食品が食べられるかもしれないが、自宅で介護をする家庭では、食事が一番大変だと思う。家庭でも簡単にソフト食が作れるようになると良いと思う。
- 家庭だけでなく、外食のメニューに載っていても良いと思う。メニューのカテゴリーも高齢者用メニューやシニアメニューなどのネーミングではなくライトメニュー等のマイナスイメージを抱かせない名前を付けると、親しみやすく良いのではないか。
- 元は何だったのか判らないようなミキサー食やきざみ食は、私は将来食べたくない。食事が楽しみな時間となるためにもメニューはバラエティに富んだものであってほしい。